

びかいのトラ

【特集】市民インタビュー

戦後80年 平和の大切さを学ぶ旅
平和は当たり前じゃない
ピースメッセンジャーの皆さん



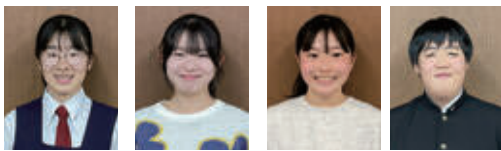
No.153

令和8年(2026年)
2月1日発行
(通巻262号)

●市民インタビュー	P 2
●審議した主な議案	
市長提出議案	P 4
議員提出議案	P 5
●議案の議決結果	P 6

●市政について問う	P 8
《一般質問》	
●行政視察報告	P 16
●市議会からのお知らせ	P 21
●議会活動報告	P 23





戦

後80年 平和の大切さを学ぶ旅

平和は当たり前じゃない

ピースメッセンジャーの皆さん

市内には、さまざまな活動をしている方が大勢いらっしゃいます。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思います。今回は総務委員会が担当しました。
※希望によりインタビュー参加者の氏名等は、掲載を控えています。

【表紙の写真】(令和7年11月撮影)
令和7年度ピースメッセンジャー事業に参加し、インタビューにご協力いただいた皆さん

戦争の悲惨さや平和の大切さを自ら考え、発信できる人材を育成するため、青梅市と羽村市は、平成27年度から「青梅・羽村ピースメッセンジャー事業を合同で実施しています。今回のインタビューでは、令和7年度にこの事業に参加したピースメッセンジャーの皆さん、大学生リーダーとしてこれまで携わった方、事業を長年サポートする指導員の方にお話を伺いました。

ピースメッセンジャーに参加した理由は何ですか？

● 近所に以前参加した人がいて、興味を持ちました。

● 歴史の授業で広島への原爆投下を知る機会があり、もっと知ってみたいと思い、参加しました。

● 小説で原爆のことに関心をもち、いつか広島へ行きたいと思っていました。

● 漫画「はだしのゲン」を読んで、興味をもったのがきっかけです。

広島へ行く前の事前学習はどんな内容でしたか？

● 最初に青梅市でグループミーティングをし、原爆や戦争について知っていること、意見や思いを話し合いました。知識が豊富な人がいっぱいいて驚きました。写真等、様々な資料が準備されていて、新たな発見が沢山あり、友達同士で話し合ったことが印象に残っています。



事前研修の様子

「広島訪問」

原爆ドームや平和記念資料館を見学した印象はどうでしたか？

● 初めて原爆ドームを訪れ、想像以上の被害を痛感しました。

● 資料館には被爆した自転車や弁当箱なども展示され、当時の様子が分かりました。

● 資料館の展示を見て、原爆被害をリアルに感じました。平和について考えさせられました。

● その日の体験や考えたことを共有するミーティングで、同じものを見ていても捉え方が全然違う人

がいました。意見を深掘りできて、興味深かったです。



広島訪問
(右上)原爆ドーム
(右下)平和記念資料館での見学
(左上)慰霊碑を巡る



被爆体験伝承者の方からも

お話を伺ったそうですね

● はい。写真を見るだけでは、信じたかったのですが、直接お話を伺うことで、「本当にあったことなんだ」と実感し、現実味が湧きました。

● 伝承者の方は、原爆被害の伝承に、絵や音楽でも取り組んでいると聞き、私も何かに伝える行動をしたいと思いました。



被爆体験者のお話を聞く

大学生リーダーの方に伺います 参加した感想を教えてください



丸尾 友珠さん(大学生リーダー)

リーダーとして、子供たちの思いを言語化して、お互いの意見交換を促すことに力を注ぎました。同世代が真剣に意見交換できるというのが、この事業の大きな意義だと思います。

私自身中学生の時に参加し、当時のメンバーと今も連絡を取り合っています。青梅市と合同なので、住む環境が違う子とも交流し、視野が広がったと思います。

長年指導員を務める先生に伺います 今年度の事業はいかがでしたか？



福田 恵一さん(指導員)

生徒自らが応募する方式にしたことで、モチベーションの高い子がより多かったと思います。私たちの役割は、その思いをどう深めさせることができるか、にあると思っています。

報告会に向けた研修では 「深く考える」指導があったとか

● 福田先生が発表原稿を見て、「何が言いたいのか」「これで合っているのか」と何回も聞いてくださったので、更に考えを深めることができました。

丸尾 実は、以前はもっと深掘りが厳しかったんですよ、福田先生(笑)。でも、大学生の今、じっくり考える大切さを実感し、習慣付けてもらえて良かったと思っています。

最後に、今回の経験で

どんな学びがありましたか？

● 被爆者の方が高齢になっていいます。話を聞いた自分たちのような若者が平和は当たり前じゃないことを伝えていかなければいけないと強く感じました。

● 表面的にしか知らなかった「平和」という言葉が、体験を通じて深みを帯び、立体的になっていく感じがしました。私に何ができるのかを考えるようになり、成長できたと思います。

● 一言で言うところ、「やってよかった」です。日本からの視点だけでなく、世界から見た平和にも興味を持ち、自分から情報を得る大切さが分かりました。

● 多くの人の意見を聞くことができ、とても良い勉強になりました。興味がある生徒は、参加してみたら良いと思います。



派遣報告会

インタビューを終えて

戦争体験者が少なくなる中、「戦争だけはしない」という意識の継承をどう図るかが、切実で、実際の課題となっています。

参加した中学生のお話を聞いて、この事業が大きな役割を果たしていることを嬉しく思います。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。



青梅・羽村・比叡スメッセンジャー事業
市内在住の中学生を「青梅・羽村・比叡スメッセンジャー」として、広島に派遣しています。

- ・事前研修、事後研修
- ・広島訪問(2泊3日)
- ・一連の活動の報告会を行います。

参加資格
平和に関心があり、研修等の全日程に参加できる市内在住の中学生(申込多数の場合は選考あり)
※例年4月頃募集

担当課 羽村市総務部総務課

議案審議

■第4回定例会（12月）に市長から提出された議案は、条例に関する議案8件、補正予算案4件、その他の議案3件、あわせて15件を可決・同意しました。

■議員提出議案は、意見書2件を可決しました。

■審査した陳情3件はいずれも不採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。

※施策の内容は、12月時点のものです。
※内容は要約しています。
詳細はインターネット録画中継をご覧ください。

12月9日、
12月19日をご覧ください



市長提出議案

羽村市電気自動車用急速充電器管理運営条例を廃止する条例

市役所敷地内にある、EV用急速充電設備は
民間事業者が運営することになります

【主な内容】

市役所敷地内に設置している一般開放用急速充電設備が故障し使用できない状況である。当該設備の更新にあたり、民間事業者による電気自動車用急速充電設備等導入事業を実施することに伴い、本条例を廃止する。

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 現在の市の運営では30分500円で利用できる。民間事業者になった場合、採算がとれるのか。
A 使用料と東京都の補助金を活用し、採算がとれるものと認識している。

Q 民間事業者の選定方法は。
A 年明け以降にプロポーザル方式での選定を予定している。

羽村市一般会計補正予算（第7号）

物価高への対応として、高校生年代までの
子供1人あたりに2万円を支給します

【主な内容】

歳入歳出それぞれ1億5328万円増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ282億4330万4000円とする。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 給付の時期は。
A 1月中旬に案内通知を送付予定。受給の意思を確認した後で、2月下旬の給付を予定している。いち早く届けるため、基準日に該当する方にプッシュ型で支給する。

市道路線の認定について

宅地開発に伴う新たな道路を

市道として認定しました

【主な内容】

宅地開発事業により設置された道路（羽村市栄町二丁目22番地22先から22番地30先の路線「市道第1066号線」を市道路線として新たに認定する。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 市道の認定の条件は。

A 道路の起点と終点がどちらも公道とつながっており、一般交通に重要と認められること。幅員が4m以上であること。道路の交差点所に必要に応じた角切^{すみきり}があること、の3点である。

羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

市内に温泉施設が開設されるため

入湯税を新設しました

【主な内容】

地方税法の規定に基づき、入湯税を新設するため、条例の一部を改正する。

【施行日】 令和8年2月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 課税の免除規定で定める金額はいくらになるのか。

A 入場料金が税抜き1200円以下と定める。

Q 開設される温泉施設は免除規定に該当するのか。

A 該当する。

議員提出議案

意見書2件を可決しました

危機的状況にある

自治体病院の存続に向けた
財政支援を求める意見書

（要旨） 地域の医療体制を守る自治体病院の安定的運営のために、政府に早急かつ具体的に対応することを強く求める。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生）

【議決結果】 原案可決

地方税財源の

充実確保を求める意見書

（要旨） 地方公共団体が、社会情勢変化に対応した取組を着実に推進することが出来るよう、地方税財源の充実確保を図るため、政府に特段の措置を講じることが強く求める。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策少子化対策 若者活躍 男女共同参画、地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策、規制改革）

【議決結果】 原案可決

お詫びと訂正

羽村市議会だより152号（令和7年11月1日発行）の記載内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
誤 生活保護歩受給者 「正」生活保護受給者

意見書全文は
こちらから



第4回定例会(12月)の議決結果

■全会一致となった市長提出議案

件名	議決結果
羽村市議会議員及び羽村市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 →公職選挙法施行令の一部改正により、国政選挙における選挙運動の公費負担限度額が引き上げられたため、条例の一部を改正する。	原案可決
羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例 → P5	
児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 →児童福祉法の一部改正により、保育所等の職員による虐待に関する通報義務等が創設されたことに伴い、関係する条例の一部を改正する。	
羽村市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 →児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令により、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準が改正されたため、条例の一部を改正する。	
羽村市印鑑条例及び羽村市事務手数料条例の一部を改正する条例 →電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、コンビニ交付サービスの実施に関する規定で引用している電気通信事業法の条文に号ずれが生じるため、条例の一部を改正する。	
羽村市給水条例の一部を改正する条例 →災害その他非常の場合において、給水装置の新設等の工事を迅速に実施するため、条例の一部を改正する。	
羽村市下水道条例の一部を改正する条例 →災害その他非常の場合において、排水設備の新設等の工事を迅速に実施するため、条例の一部を改正する。	
羽村市電気自動車用急速充電器管理運営条例を廃止する条例 → P4	
令和7年度羽村市一般会計補正予算(第6号) →歳入歳出それぞれ6億5,290万4千円増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ280億9,002万4千円とする。	
令和7年度羽村市一般会計補正予算(第7号) → P4	
令和7年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第2号) →歳入歳出それぞれ66万円増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ46億3,615万3千円とする。	
令和7年度羽村市水道事業会計補正予算(第2号) →収益的支出を284万9千円増額し、補正後の予算額を9億3,721万円とする。	
市道路線の認定について → P5	
損害賠償額の決定及び和解について →令和7年11月5日、市が管理する小作緑地公園の樹木が倒れ、隣接する店舗の屋根に設置されていた業務用空調機を破損させた事故に対する損害賠償額を決定する。	
固定資産評価審査委員会委員の選任について →固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、秋山法氏を委員に選任したいので、議会の同意を求める。	原案同意

凡
例

■各会派の賛否■

議案／

○…賛成

×…反対

陳情／

○…採択

×…不採択

■会 派 名■

新…新政会 公…公明党 令…令和かがやき 共…日本共産党 ネ…市民ネットワーク

都…羽村市議会都民ファーストの会 世…世論 つ…つながる力 双…双葉会

■議員提出議案→P5

件名	議決結果
危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書	原案可決
地方税財源の充実確保を求める意見書	

■陳情

件名	審査した 委員会	会派名（数字は人数）									本会議での 議決結果
		新	公	令	共	ネ	都	世	つ	双	
		(5)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
『陳情への補完ご意見』に関する陳情	環境	×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択
水道工事等に伴う関係者の承諾に関する陳情書	まちづくり 委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
羽村市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情	文教厚生 委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

12月定例会から「電子採決」を実施しています

これまで議会での採決は、議案や陳情に賛成する人が起立する「起立採決」を行っていましたが、12月定例会から、議場のシステムの変更に伴い「電子採決」が可能になりました。



議員はボタンを押して賛否を表します

投票中

林田 敦子	秋山 義徳	鈴木 拓也
櫻沢 裕人	高田 和登	山崎 陽一
池澤 敦	浜中 順	馳平 耕三
野崎 和也	富松 崇	石居 尚郎
金子 ひとみ	中嶋 勝	濱中 俊男
菅 勇真	富永 訓正	門間 淑子

(例)7 陳情第8号の電子採決の様子

賛成・反対が
一目でわかる!

出席議員数	18	人
表決総数	17	人
賛成	1	人
反対	16	人

会 派 名 簿

新 政 会

さくらざわ 櫻沢 裕人 池澤 敦
のざき 野崎 和也 あきやま よしのり
とみまつ 富松 崇 秋山 義徳

公 明 党

かね こ 金子ひとみ
なか じま まさる
中嶋 勝
とみ なが のりまさ
富永 訓正
いし い ひさお
石居 尚郎

令和かがやき

はやし だ あつ こ
林田 敦子
はせ ひろ こうそう
馳平 耕三

日本共産党

はま なか じゅん
浜中 順
すず き たく や
鈴木 拓也

市民ネットワーク

もん ま ひで こ
門間 淑子

羽村市議会都民ファーストの会

はま なか とし お
濱中 俊男

世 論

やま ざき よう いち
山崎 陽一

つながる力

たか だ かず と
高田 和登

双 葉 会

かん ゆう しん
菅 勇真

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の全般について質問することです。

第4回定例会では、

12月3日、4日、5日の3日間にわたり

15人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁にある施策の内容は、12月時点のものです。



《Q》※C I O補佐官の任用について市の見解は

《A》任期付職員の採用等を含め、様々な方策を検討する



櫻沢 裕人 議員（新政会）

データと情報技術の
活用による市民参加の
まちづくりについて

質問 羽村市版※行政ダッ

シユボードの整備は、「羽
村市DX推進基本方針」に
掲げる理想のまちづくりの
実現に資すると思われるが、
市の見解は。

市長 ダッシユボードの整
備・活用は、「羽村市DX
推進基本方針」に資する取
組になるものと捉えている。

特に、多様なデータを基
にした客観的な政策立案の
推進につながり、政策の有
効性を高める手法となるこ
とが考えられる。

課題を踏まえ、市の実情
に沿ったダッシユボードの



「羽村市DX推進基本方針」3つの柱

整備について検討する。

質問 情報技術の急速な進
歩に対応するために、高度
な専門的知識や経験を有す
る人材をC I O補佐官とし
て任用することが望ましい
と考えるが、市の見解は。

市長 令和6年度からは、一
般財団法人GovTech
東京が提供するスポット相
談や、伴走サポート等の人
的サービスを活用している。
GovTech東京に所属
する専門的人材の効果的な
活用について検討すると
もに、行政のDXを一層推
進するため、任期付職員の
採用等も含め、様々な方策
について検討を進める。

■その他の質問
学校給食の安定的な提供につ
いて

※C I O：最高情報統括責任者のこと。
市では行政のデジタル化を進める
にあたり、副市長をC I Oに位置
づけ、情報通信技術の活用や行政
運営の改善に取り組んでいる。
※行政ダッシユボード：市が保有す
るデータを集約し、グラフや地図
等を用いて分かりやす
く可視化したもの。



《Q》授乳室で搾乳もできることを示す取組を
《A》分かりやすい表示や周知をしていく



金子 ひとみ 議員 (公明党)

安心して搾乳できる
環境づくりについて

授乳室には子供と入るものとの認識から、母親一人で入ることに抵抗を感じる方がいる。

質問 他自治体では、授乳室で搾乳もできることを示す「搾乳マーク」を併記している。市でも導入すべきではないか。

市長 市内にある東京都の認定施設「赤ちゃんふらっと」では、搾乳に必要な環境が整っている。搾乳する方も気兼ねなく利用できることを分かりやすく表示し、必要な周知を行う。

**市民意見を踏まえた
公共施設再配置構想
(たたき台)の**

進め方について

質問 「たたき台」について、



市役所1階のあかちゃん休憩室に併記された「搾乳マーク」

公共施設の利用者や団体から意見を聞いたことは。

市長 対象者を限定した機会は設けていないが、たたき台への意見募集で寄せられた意見の中に、多数含まれていると捉えている。

質問 市民が納得できる未来の構想をどのように明確化し、情報提供するのか。

市長 意見募集から明らかになった市民の懸念や課題について、見直すべきところは見直し、丁寧に説明しながら、より良い未来につながる公共施設再配置構想として策定していく。

質問 学校統廃合を進める中で、教育ビジョンを市民に伝えることが必要では。

教育長 将来的な学校の在り方の一つとして、「義務教育学校」の設置を検討。質の高い学びを実現する教育の在り方を市民と共に検討していく。



《Q》障害者の介護保険サービス移行による変化は
《A》利用者負担とサービス内容に変化が生じる



馳平 耕三 議員 (令和かがやき)

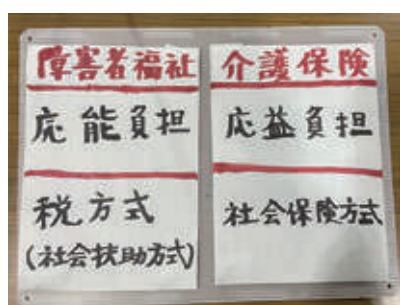
障害者の「65歳の壁」を問う

65歳になると、それまで障害福祉サービスを利用していた障害者の方も、原則として介護保険サービスを利用することが求められる。

質問 市では、障害福祉サービスから介護保険サービスに変わることにより、どのような変化があるか。

市長 利用者負担とサービス内容に変更が生じる。

障害福祉サービスでは、サービスの提供に要した費用の1割が利用者負担となるが、障害者本人と同一世帯の配偶者が市民税非課税の場合、利用者負担は生じない。一方、介護保険サ



サービス移行により負担等が変化する「65歳の壁」問題

ビスでは、かかった費用の1割から3割までが所得等に応じて利用者負担となる。

質問 解決策の1つとされる「新高額障害福祉サービス等給付費」の利用者は。

市長 令和6年度は3人の方に給付している。

質問 「新高額障害福祉サービス等給付費」は要件が厳しすぎるという声がある。要件を撤廃し、サービス移行する全ての人を対象にする考えはないか。

市長 国の制度であり、国の制度設計に沿った対応が適切と考えているため、現状の対応を継続していく。利用者の皆様が安心して円滑にサービスを利用していただくよう、引き続き、制度の仕組みや手続きについて丁寧に説明していく。

■その他の質問
地域手当てについて問う／
2期目の橋本市政で停滞感のある羽村市政をどう変えるか



《Q》集会施設の予約等に出向かなくて済むシステムを

《A》利用プロセス全体のデジタル化を検討していく



中嶋 勝 議員 (公明党)



集会施設の利用では、事前の鍵の受取りなど手続きが煩雑な現状がある

利便性の良い

地域集会施設管理運営

システムの構築を

利用方法が煩雑な現状から、予約等に出向かなくても済む方法の構築を。

質問 市公式LINEを使った予約や、現金以外の支払いを可能にしては。更に、

施錠・解錠を電子化し、鍵の受け渡しも不要にしては。

市長 公共施設個別再配置計画策定の中で、利用プロセス全体のデジタル化について検討していく。

具体的には、市民が窓口に出向くことなくスマホやパソコンから簡単に予約、オンライン上で決済できるシステム等を構築。施錠等

は、暗証番号が扉の鍵となり、利用者ごとに暗証番号を発行、メール等で通知すること

鍵の受渡しが必要となるスマートロックシステムの活用を視野に入れ、検討していく。

各地の災害を教訓に、

更なる避難所の充実を

避難所となる学校体育館に待望のエアコンが設置されたが、肝心の電源確保ができていない。

質問 太陽光発電装置の設置と蓄電池の導入を具体的に検討してはどうか。

市長 避難所のうち3校には、太陽光発電装置及び蓄電池を設置している。今後の設置は、学校の再編や施設の改修に合わせて効率的に実施していけるよう、特定財源の確保も含め、検討していく。引き続き、様々な手段により、避難所の電力の確保に取り組む。



《Q》比丘尼坂以外で清流地区の避難経路の想定は

《A》バイパス道路建設の可能性を協議していく



石居 尚郎 議員 (公明党)



清流地区からの唯一の避難経路となる、あきる野市道多西285号線

水害・土砂災害における

清流地区の孤立対策を急げ

質問 避難経路を、土砂災害のリスクのある、あきる野市道多西285号線（通称 比丘尼坂）以外に想定できないか。

市長 あきる野市道多西285号線以外の避難経路はないと考える。令和7年第1回定例会において、石居議員から「東京都の羽村大橋拡幅工事に併せて、清流地域の避難経路のバイパス道路建設の検討を」との質問があり、市では、東京都やあきる野市と意見交換を行ってきた。引き続き、羽村大橋の拡幅工事に併せた新たな避難経路としてのバ

イパス道路の建設に関し、その実現の可能性について東京都やあきる野市と協議を行っていく。

質問 孤立する前に避難が可能となる、マイタイムラインの普及や地区防災計画の促進を、市としてもより積極的に推進すべきでは。

市長 マイタイムラインの普及・啓発に取り組み、地区防災計画の策定について、自主防災組織の皆様へ情報提供を行うなど、策定を促進していきたい。

持続可能で安心できる

医療・介護の取組を

質問 ※地域医療連携推進法人化への取組を研究・検討しては。

市長 有効と判断される場合には、西多摩地域広域行政圏協議会に調査・研究することを提案していく。

※地域医療連携推進法人：医療機関相互の機能の分担・業務の連携推進等を図り、地域医療構想を達成するための選択肢の一つとして創設された法人の認定制度。



《Q》公共施設再配置構想の決定時期を延長すべきでは

《A》大幅な内容変更や新たな課題が生じた場合は見直す



浜中 順 議員（日本共産党）

公共施設再配置構想

（たたき台）は

もつと周知し意見の聴取を

たたき台では、松林小学校と武蔵野小学校、羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合、コミュニティセンター・中央児童館・小作台図書室などを廃止する案がある。

質問 施設利用者に統合・廃止の理由と時期を周知し、意見を聴取すべきでは。

また、パブリックコメントにかける「素案」作成までの検討経緯を含め、内容が分かるダイジェスト版を市内に全戸配布し、市民が参加しやすい日時に再び市民説明会を数多く開き、意見を聴取すべきでは。



廃止が予定されているコミュニティセンター

市長 パブリックコメントや個別再配置計画の作成段階においても、周知方法や説明資料を工夫するなど、市民の理解を深めるための取組を進めていく。

質問 公共施設再配置構想の決定時期を延長すべきでは。

市長 今年度中の策定を基本として進めている。大幅な内容変更や新たな課題が生じた場合等は適宜スケジュールを見直す。

小・中学校教育における

保護者負担の軽減を

質問 これまで中学校部活動の技術指導費は無料であった。部活動の地域移行により有料となると保護者の負担が増えるが、市はどう考えているか。

教育長 地域クラブ活動への移行は国の方針でもある。国や都に活動への補助を引き続き要望していく。



《Q》都の子ども食堂への補助金を市でも検討しては

《A》支援の在り方について調査・研究していく



秋山 義徳 議員（新公会）

こどもまんなか社会に

向けた取組について

質問 福生市では東京都の子供食堂推進事業補助金を活用し、子ども食堂に対しバックアップを始めている。市でも検討しては。

市長 各団体との情報交換の中で、活動を知ってもらうための周知の協力を求める意見が多く寄せられている。これを受け、市では、各団体の活動内容をまとめたチラシを作成し、小・中学校の全児童・生徒への配布や広報はむらを通じて活動の紹介をするなど、広く周知を行ってきた。

子ども食堂が地域における子供と家庭の居場所として継続できるよう、活動の周知などの側面的支援に取り組んでいく。

併せて、財政的な支援も含め、効率的でより効果的な支援の在り方についても調査・研究していく。

市民の安全を守るために
特殊詐欺について

質問 市内被害者数及び被害額は。

市長 令和4年は5件、約1600万円。令和5年は11件、約2100万円。令和6年は9件、約1900万円。令和7年は10月末時点で既に16件、約7770万円と昨年を上回る状況。害獣について

質問 熊、猪など、獣の出没情報や被害はあったか。
市長 現時点で熊の出没情報は無い。猪は過去に出没しているが、人身被害や農作物への被害報告は受けていない。



市は、特殊詐欺対策として、高齢者に自動通話録音機器を貸し出している



《Q》道路わきなどに雑草が生い茂っている理由は

《A》全ての路線で均一の頻度での除草が難しい状況



富松 崇 議員 (新国会)

道路の除草について

質問 道路わきや歩道、植樹帯などに雑草が生い茂っている箇所が多く見受けられる理由は。

市長 近年の季節変動の下、雑草の成長が早く、除草の頻度が増加し、対応に苦慮している。市が管理する道路は801路線あり、全ての路線で均一の頻度で対応することが難しい状況である。

リチウムイオン電池の処分について

質問 他自治体では回収を実施しているところもあるが、羽村市でも回収を始めてはどうか。

市長 回収体制を整備する



市道に繁茂した雑草

方向で検討を進めており、有害ごみとして取り扱う予定。令和8年4月からの回収実施に向け、具体的な準備を進めている。

エイゼムス

プロジェクトについて

質問 太陽光発電システムやリチウムイオン二次電池の耐用年数が近づいていると考える。機器の交換には多額の費用が発生すると思うが、機器の入替えをどのように進めていく考えか。

市長 劣化や不具合が想定されるため、更新に向けた検討が必要であると認識している。電気自動車用急速充電器も現在劣化による不具合が生じ、一般利用ができない状態となっている。機器の更新時期に合わせ、最新技術の導入と費用削減の方策を併せて調査・研究を進め、環境に配慮した取組を今後も継続していく。



《Q》(仮称)「地域探求フェスタ」の開催を

《A》実現の可能性について羽村高校と意見交換を行う



野崎 和也 議員 (新国会)

市内企業との協働による若者の市内定着促進と都立羽村高等学校の魅力発信について

質問 若者が地域に愛着を持つまちづくりにつなげるため、羽村高校と協力し、高校の魅力と共に市の魅力も地域へ発信しては。

市長 意見交換を通じ、それぞれが主体的かつ連携して実施できる効果的な方法を検討する。

質問 若者が市内企業の情報にアクセスしやすい紹介ツールの整備、企業を直接見る機会など、若者と企業をつなぐ取組を進めては。

市長 若者のニーズを把握し、羽村市商工会等との連



都立羽村高等学校

携により、効果的な手法の調査・研究を進める。

質問 高校生の視点を地域の力として活用する、(仮称)「地域探求フェスタ」の開催を。

市長 実現の可能性について羽村高校との意見交換を行う。

羽村市検査事務規程に基づく基準の見直しについて

質問 基準を最後に改定した時期は。

市長 平成11年4月である。

質問 建設資材の高騰や労務単価の上昇と比較し、現行の基準は実態に即しているか。また、課題認識は。

市長 公共事業は、市民福祉の向上に資するものであり、適切に実施する必要がある。基準の見直しは、工事の適正な履行の確保を大原則とした上で、効率性とのバランスも考慮し、近隣自治体の状況も踏まえ、今後、検討する。



《Q》補助金を活用し、水道料金の減免を行うべきでは？

《A》交付金を活用した様々な施策の検討を行っている



鈴木 拓也 議員（日本共産党）



国の補助金を活用した水道料金の減免を

使いやすい

プレミアム付き商品券と
水道料金の減免の実施を！

質問 プレミアム付きデジ
タル商品券が再販売されて
いる。なぜか。

市長 申込みの口数が予定
を下回ったため、追加販売
を行った。

質問 今後は、デジタルだ
けでなく、紙の商品券を販
売すべきではないか。

市長 効果的な手法を商工
会とともに研究していく。

質問 国の補助金を活用し、
水道料金の減免を行うべき
ではないか。

市長 交付金を活用した物価
高対策について、庁内で様々
な施策の検討を行っている。

学校の統廃合は
保護者・子供の意見を
十分踏まえたものに！

質問 私の独自調査では、
松林小学校の保護者の約7
割が、武蔵野小学校との統
合に反対している。こうし
た状況下で、統合は行うべ
きではないのでは。

教育長 統合そのものに反
対の意見が多数を占める状
況にはないと捉えている。

質問 対象校の全保護者、
全児童・生徒にアンケート
を行い、計画に反映させる
べきではないか。

教育長 懇談会等を通じ、
市民から意見を伺い、児童・
生徒には学校再編に関する
アンケートを実施した。関
係者と意見交換を行いなが
ら、進めていく。

質問 来年3月の構想決定
は延期すべきではないか。

市長 今年度中の決定を基
本として進める。

■その他の質問
都市計画税はどこに
どう使われている？



《Q》羽村駅西口交通広場の整備予定は

《A》令和12年度以降と想定している



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）



羽村大橋

羽村駅西口土地区画整理
事業の進展について

質問 現在の課題をどう捉
えているか。

市長 課題は移転協議の進捗
と捉えている。権利者本人
や家族の状況に十分配慮し
ながら、丁寧な説明と信頼
関係の構築を基本に進めて
いる。

引き続き、権利者に寄り
添った対応を心掛け、関係
権利者のご理解、ご協力を
いただけるよう取り組んで
いく。

質問 都市計画道路3・4・
12号線の工事の着手は。

市長 本路線は早急に整備
する必要があると考えてい
る。現在、警視庁や西多摩

建設事務所と協議中であり、
令和9年度以降の工事着手
を目指している。

質問 羽村駅西口の駅前交
通広場の整備予定は。

市長 本格的な整備時期は
令和12年度以降になるもの
と想定している。

質問 羽村駅西口の更なる
商業振興策を考えては。

市長 西口駅前周辺のポテ
ンシャルを活かした賑わい
の創出と商業振興策につい
て調査・研究していく。

質問 駅前交通広場整備後
の観光案内所の場所及び、
観光施策をどうしていく考
えか。

市長 観光案内所は駅前周
辺に配置するのが望ましい
と考えている。

新たな観光案内所を市の
地域資源や魅力を発信する
中核施設とし、市の多様な
魅力を発信するよう取り組
む。誘客の促進と地域経済
の活性化に資する観光振興
を推進する。



《Q》認知症サポーター養成講座を中学生に実施する理由は

《A》若い年代から認知症への理解を深めることが重要



林田 敦子 議員（令和かがやき）

小学校でも認知症サポーター養成講座を

現在、市は中学一年生を対象に講座を実施している。
質問 中学一年生を対象に実施する理由は。

市長 若い年代から段階的に認知症への理解を深めることが重要と考えた結果、中学生は認知症を正しく理解でき、地域社会での人との関わりや助け合うことの大切さを学ぶ時期として最も適切であると判断した。また、二年生で実施する

職場体験の際に、介護サービ事業所に行く生徒の事前学習の一環にもなる。
質問 今後、小学校で導入する予定はあるか。
市長 実施予定はないが、



認知症サポーター小学生養成講座副読本

出前講座の体制を整えており、柔軟に対応する。

公共施設におけるAEDの設置運用状況について

質問 AED導入の際の費用とランニングコストは。

市長 直近の導入事例では購入は約30万円、5年リースは約25万円。消耗品は、バッテリーが概ね4年交換で約4万から5万円、電極パッドが概ね2年交換で約1万から2万円かかる。

質問 市内で24時間使用できる公共施設は。

市長 市役所と水道事務所の2か所である。

質問 宮の下運動公園にAEDは設置されているか。

市長 設置していない。
質問 設置が必要では。

市長 屋外での設置は、盗難や破損、精密機器であるが故の不具合時の対応、管理・保安方法など課題がある。



《Q》1人1冊だった漫画の貸出冊数の変更は

《A》令和7年6月から1人5冊に変更した



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

利用しやすく

居心地の良い図書館を

質問 図書館アンケートの結果公表はいつか。

教育長 304件の回答があり、12月中に集計結果の公表を予定。自由意見に対する図書館の見解は、令和7年度中に公表する予定。
質問 令和6年度・7年度の新聞のタイトル数は。

教育長 令和6年度は18タイトル。令和7年度は英字新聞が1紙増え、19タイトル。
質問 雑誌のタイトル数は。

教育長 令和6年度は120タイトル、令和7年度はこれまでに120タイトルを購入している。
質問 1人1冊だった漫画



12月の図書館：クリスマスツリーや福グッズが楽しい

の貸出冊数の変更は。

教育長 令和7年6月から、1人5冊に変更した。

質問 居心地の良い図書館が増えていく。情報収集は。

教育長 研修や先進図書館視察で先進的な取組の情報共有、情報交換をしている。
質問 本のリサイクルは好評だが開催回数を増やしてはどうか。

教育長 11月15日、16日の両日で343人が参加。配布機会を増やせるよう検討する。

道路率30%の

区画整理は見直しを

質問 建設資材や人件費の高騰はどのように影響しているか。

市長 工事費や補償費など全ての事業費に影響が生じるが、権利者の負担軽減と市の財政負担の軽減のための工夫策を講じながら、効率的・効果的に事業を実施していく。



《Q》権利者の多くは高齢。2024 年度末時点の仮住まいは

《A》最短 1 年 5 か月、最長 17 年、平均約 4 年



山崎 陽一 議員（世論）



家屋取り壊しはこれまでに205棟。
今も、続く。

区画整理撤回要求第74弾

質問 区画整理全域は残り

期間、事業費等の面から難しい。市は、三つの優先事項に特化し事業費、事業期間を削減すると掲げた。削減目標を聞く。

市長 具体的な数値で表すことは難しい。引き続き様々な工夫を検討する。

質問 6 年事業実施計画は鎌倉街道の福生側全域で 2036 年度に事業終了か。

市長 鎌倉街道から福生側が 6 年事業範囲内。現行の事業計画に定める、事業施行期間は 2036 年度まで。

質問 施行済の区域は 4 分の 1 で 10 年かかった。残りの 3 を 11 年で可能なら

ば、その手法を聞く。

市長 優先事項に特化し、整備手順の工夫や市有地活用など効率的に進める。

質問 都市計画道路 3・4・

12 号線、駅前交通広場整備の着工、完了時期はいつか。

市長 時期を明確に答えるのは困難。3・4・12 号線は、2027 年度以降の着工を目指す。駅前交通広場の本格的整備は権利者のご協力が得られた際は、2030 年度以降と想定。

質問 権利者の多くは高齢。2024 年度末の仮住まい期間の最短と最長、平均は。

市長 最短は約 1 年 5 か月、最長は約 17 年、平均は約 4 年。

質問 地域人口は 3400 人が 2304 人と 1096

人減少。町内会など地域活動への影響は。

市長 事業施行中の暫定数と考える。工事完了後は継続した地域活動が可能と捉える。



《Q》居場所としての図書館の役割強化についての考えは

《A》効果的な取組を積極的に取り入れる



池澤 敦 議員（新政会）



交流の橋でつながる、ゆとろぎと図書館

公共施設再配置構想を踏まえたゆとろぎ及び図書館を活用した多世代の居場所づくりについて

質問 図書館における子供・若者の居場所としての役割を一層高めていく必要性について、どのように考えているか。

教育長 図書館は子供や若者にとって身近な施設であり、居場所としての機能をより重視していく必要がある。図書館本来の役割を強化しつつ、先進的な取組に係る情報を収集し、効果的な取組を積極的に取り入れていく。

質問 ゆとろぎの創作室の利用率は。

教育長 令和 6 年度の利用率は、創作室 1 が 39・4 %、創作室 2 が 34・5 %、創作室 3 が 29・2 % であった。

質問 創作室の利用がない日は、自由に滞在できる常設の「居場所」とすることで、多世代交流の場になるのでは。

教育長 夏休み期間の一般利用がない日には、学習の場として開放している。

循環型社会の推進と環境学習に資するゆとろぎとリサイクルセンターの連携について

質問 リサイクル品を公共施設に展示及び実際に活用することによる、市民への環境学習の機会創出についての考えは。

市長 現時点では実施を考えていない。子供たちが循環型社会の形成やごみの減量の必要性について、より理解を深めることができるよう創意工夫していく。



総務委員会視察報告

【実施日／視察場所】

10月14日 兵庫県尼崎市
10月15日 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
(兵庫県神戸市)



兵庫県尼崎市



AIを活用した 特殊詐欺防止対策

尼崎市は、産官学で連携し、AIを使った先進的な特殊詐欺対策に取り組んでいる。

高齢化が進む羽村市では、高齢者を狙った特殊詐欺が継続して発生しており、被害の未然防止に資する施策が望まれる。

そこで、委員会として羽村市の実情に合った実効性の高い特殊詐欺対策を考えるため、尼崎市の取組を学ぶこととした。

尼崎市の現状

尼崎市内の特殊詐欺被害の認知件数は令和4年に113件だったが、令和6年には86件に減少した。なお、令和4年比の減少数は兵庫県下でトップとのことだった。

この間、市は自動録音機能付電話機の購入補助事業、外付け録音機の貸出、職員等によるATM前での注意喚起などを実施してきた。

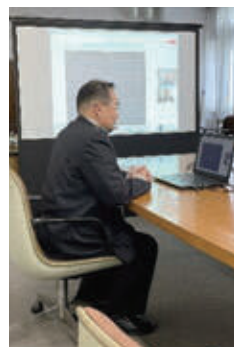
犯罪心理学×AIによる 未然防止技術

令和4年度から市・東洋大学・富士通株式会社の三者は、電話を受けている人のバイタルサインを利用して特殊詐欺を検知する手法の実証実験をした。

これは、「犯罪心理学とAIを活用した犯罪未然防止」という日本初の共同研究であり、富士通株式会社はテクノロジを、東洋大学は犯罪心理学の知見を、市は実証実験の人や場所を提供した。

まずはミリ波センサーによりバイタルサインを測定し、被害者側が特殊詐欺の電話を受けているかどうかを判断するAIを開発、実証実験を行った。具体的には、高齢者宅の電話機のそばにミリ波センサーを設置し、電話中の人体の微小な胸部・腹部の動きを読み取り、呼吸や心拍を計測する。計測した呼吸や心拍を基に、本人が騙されているかAIが判断。最終的に82%の精度で検知可能であった。令和5年11月からは、詐欺の疑似体験ができる特殊詐欺防止訓練AIツールを用い、詐欺の加害者側をAIで再現し、市民に特殊詐

欺の手口を体験してもらう実証実験を始めた。このツールは最新の詐欺手口を取り込めることや、被害者側との自然な会話が可能のため、実態に即した臨場感のある訓練が可能である。私たち委員全員も訓練を体験した。



体験の様子

市はこれらの実証実験を踏まえ、講習会などで体験会を実施し、詐欺の手口や詐欺電話を受けている時の体験者自身の心理状態を理解してもらい、市民の防犯意識の向上につなげていくとのことだった。

所感

尼崎市は、犯罪心理学の知見やAIなどの先端技術に加え、警察・金融機関等との連携、電話機のセキュリティ向上など、あらゆる手段を総動員して特殊詐欺防止に取り組む、着実な成果を上げていた。羽村市でも自動通話録音機の貸与や関係機関との連携を進めている。尼崎市の産官学連携体制や事

業スキームについては、羽村市にも活かせるを考える。

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



災害に強い まちづくりのために

甚大な自然災害が全国各地で発生し、自助・共助・公助による災害に強いまちづくりが求められている。市の防災減災対策を考えるため、兵庫県神戸市の阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」を視察した。

センターの取組

「人と防災未来センター」は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、安全・安心な社会を実現するため、平成14年に兵庫県が設置した施設である。

センターは「展示」「資料収集・保存」「災害対策専門職員の育成」

「実践的な防災研究と若手防災専門家の育成」「災害対応の現地支援」「交流・ネットワーク」の6つのミッションを、総合的に組み合わせた活動を行っている。

加えて、広く人々に訴える啓蒙活動の推進や、兵庫県内のすべての学校はもとより、全世界への防災・減災情報発信の拠点、災害ミュージアム・シンクタンクとしての役割を果たしている。

令和7年度は阪神・淡路大震災発生30年を迎えたことや、大阪・関西万博の開催もあり、今後の大規模災害や地球規模での安全・安心な社会づくりへの貢献、更には、防災の知恵(災害文化)の普及・啓発の取組を展開している。

展示で学ぶ災害

センター内の展示では、阪神・淡路大震災の建物倒壊や火災を再現映像と音響で体験するシアター



センター内の展示

や、震災資料や自然災害に関する実験装置などがあり、防災知識を身に付けることができる。

特に、復興に至るまでのまちと人をドラマで紹介する映像作品「このまちと生きる」では、避難所での合同葬儀、生活の様子や、震災後に仮設住宅等に住む一人暮らしの高齢者を訪問する「心の支援」の取組、これからのまちをどのようにつくっていくのかを考える会として構成した「まちづくり協議会」を構成したことなどを知ることができる。映像を見て、避難所生活となったとき、果たして自分には何ができるのだろうかと考えさせられた。

今回の視察で、神戸市が復興に向けて自分たちが住みやすく、災害に強いまちづくりを行ってきた変遷を学ぶことができた。また、



液状化現象の実験装置

羽村市で起こりうる災害等に対する知識、意識等を高めること、災害への備えを進めていくことが必要であると感じた。

直接見学することで感じること・学びになるものが多いと強く感じる。関西方面へお出かけの際には、「人と防災未来センター」に是非一度足を運んでみていただきたい。



行政視察報告書
(全文)はこちら



※記事は報告書の内容を要約しています。

環境まちづくり委員会視察報告

【実施日/視察場所】

10月15日 福井県勝山市・福井県立恐竜博物館

10月16日 めがねミュージアム
(福井県鯖江市)



福井県勝山市 福井県立恐竜博物館

恐竜でまちづくりを

福井県では、日本の恐竜化石の8割が発見され、福井駅前や県立恐竜博物館には様々な復元恐竜が設置されている。

その多くは、羽村市内企業の「株式会社ココロ」が設計・製作し、勝山市議会が視察に来たという。そこで「恐竜を発掘・展示するまち×恐竜をつくるまち」として両市のブランドイメージを高める可能性を探るため、勝山市役所と市内の福井県立恐竜博物館を視察した。



全長10m。動く恐竜 スコムス(福井駅前)



勝山市のまちおこし

恐竜コンテンツ23体が並ぶ福井駅前から、えちぜん鉄道・勝山永平寺線で45分。勝山駅広場では恐竜の親子が出迎える。

勝山市といえば恐竜。1988年に2億2000万年前の肉食恐竜化石が発掘され、恐竜化石の宝庫として注目されている。

山間部は豪雪地帯だが、自然豊かで山林や溪谷、森に囲まれた風景が広がり熊の姿も見かけるといふ。市街地は九頭竜川の河岸段丘に広がる。面積254km²と羽村市の25倍で人口は2万875人。

2024年春に北陸新幹線が延伸し、関東方面からの観光客が増加したが、宿泊者の少なさが課題。市内人口も減少しており、活性化を掲げたまちおこしを行っている。

恐竜と歴史的遺産で

雇用創出、定住人口増加を

まちおこしを担うのが、市の委託を受けた勝山市観光まちづくり株式会社。広報・南部真佐美さんによると、

- ①「道の駅」などの収益事業運営。
- ②観光事業の恐竜に加え、越前大仏といった歴史的遺産やスキー場

などの総合的なPR発信。

③飲食や土産店での地元農産物・ニジマスの販売。が事業の柱。

この他にも、伝統的な繊維業の振興など、長期戦略で地域全体を盛り上げ、雇用創出を行っている。

星野リゾートの進出も決まり、今後、外国人観光客にも期待。「若者の定住や移住促進につなげたい」と言う。

福井県立恐竜博物館

福井県立恐竜博物館は世界三大恐竜博物館の一つで、2000年に開館し、北陸新幹線延伸に合わせリニューアル。地下1階、地上3階で、館内は「恐竜の世界」「地球の科学」「生命の歴史」の3ゾーンで構成。恐竜の世界から人類の出現までを展示。化石クリーニングなどの研究体験もできる実感型施設となっている。「恐竜の世界」には、ティラノサウルスなどの動



定住人口が1人減ると年間消費額が135万円減少する

く復元恐竜ロボットなどが11体あり、恐竜の全身骨格50体を含めた1800点の資料を展示。

博物館に13体ある復元恐竜は羽村市内の株式会社ココロに特注。「本物志向で優れておりメンテナンスなども依頼している」と副館長の寺田福井大学客員教授。来館者は年間約120万人。観覧料は一般1000円、未就学児は無料。幼児が恐竜に駆け寄り「ここに住みたい！」と叫んだり、首長恐竜を見上げて驚いたり、とても楽しそうだったと参観したお母さん。年齢に関わらず「ここに響くときめき」があるのだろう。

家族連れが多くマイカーで2、3時間の関西、中京方面からが7割、関東地方は2割弱という。

博物館は、化石発掘体験もできる「かつやま恐竜の森」内にあり、2026年には公園内に福井県立大学恐竜学部が開設される。

羽村市の株式会社ココロは、羽村市産業祭に子供が乗れる恐竜ロボットを出品。栄小学校の「あこがれ夢広場」ワークショップにも参加。テレビはむらでも紹介されており、「恐竜をつくるまち」とし

ての活性化にも期待したい。



動くティラノサウルスと恐竜骨格標本



めがねミュージアム めがね産業との連携



国産めがねフレームの9割以上を生産する福井県鯖江市。漆器や刃物造りの伝統を活かした、めがね産業での経済効果など、まちづくり成功例の現状を学ぶ。

地域の伝統を活かし

地場産業で成功

鯖江市はめがねフレームの国内シェア96%というめがねの聖地。駅前道路には、めがねマークの旗が連なる。その情報発信・PRを

行うのが「めがねミュージアム」。来館者は年間12万人。めがねの歴史から、フレーム造り体験、新製品販売も行っている。

メガネは13世紀イタリアで造られた。その後、印刷機発明での活字文化普及で需要が増加。フランシスコ・ザビエルは近視眼鏡で織田信長に謁見したという。

110年前、大阪でめがね修業をした村民が技術を持ち帰り、農閑期の副業として始まった。地元には越前漆器、刃物、和紙、陶器などを北前船で北海道から島根県まで広げてきた技術と伝統がある。それがめがねフレームにも活かされて進化。デザイン、金型、プレス、研磨など10以上の作業に分業化され、まち全体がめがね工場のようなっているそうだ。

1982年にチタンフレームを開発、鉄より軽く錆びない人気製品として需要が拡大。現在も、人口7万人の1割がめがね産業に従事。半数は女性で、その社会進出はSDGsの面からも評価されている。近年は、安価な中国製などの影響でピーク時1200億円の出荷額より減少しているが主要産

業であり「技術と品質」で巻き返している。

新たな目標は「自然や風土から育まれた、モノづくりの歴史と伝統の循環を取り戻し『MADE IN JAPAN』として未来を見据える」という。



江戸時代の眼鏡とめがねミュージアム



羽村市は大企業撤退の一方で、DXやIT関連、試作品製造など新たな産業が進出。首都圏に位置し豊富な水源など有効資源を利用した産業発展の参考にしたい。

行政視察報告書
(全文)はこちら



※記事は報告書の内容を要約しています。

文教厚生委員会視察報告

【実施日/視察場所】

10月14日 神奈川県横須賀市



神奈川県横須賀市

終活を考える



孤独死・孤立死が社会問題化している中、今後課題となるエンディング・サポートについて、先進的に取り組んでいる横須賀市を視察した。

エンディングプラン・

サポート事業

横須賀市は、身寄りのない高齢者の無縁遺骨増加を背景に、民官連携の生前契約支援事業を、全国初の先進的な取組として、2015年に開始した。

対象は一人暮らしで生活にゆとりのない高齢者等で、9社ある協力葬儀社の中から、死後事務委任契約を結び、葬儀等の費用を本人が前納する仕組み。市は安否確認や見守りを行い、死亡後は納骨まで対応する。

生前の意思が尊重できた割合は令和3年度で23・3%。葬儀費用等を前納しているため、市が火葬費用を負担する必要がなく、支出

回避にもつながっている。
わたしの終活登録事業

この事業は2018年に開始。全市民を対象とした制度で、本人の意思を事前登録することで、安心して地域で暮らせることを目指している。



(上)エンディングプラン・サポート事業の流れ
(下)終活登録の仕組み
(いずれも各事業パンフレットより抜粋)

緊急連絡先や遺言書保管場所、かかりつけ医など、11項目から任意で登録ができ、病气や死亡時には、本人が指定した関係機関等に市が情報を開示する。

登録者は10代から90代と幅広く、特に80代女性の登録が多い。市民への周知は広報や出前トークで行い、令和4年度の決算額は約3万7000円とのことだった。

視察を終えて

「エンディングプラン・サポート事業」は、核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、行政と民間企業が連携し支える新たなモデル事業であると感じた。羽村市では現時点で同様の逼迫状況はないが、将来を見据えた仕組みづくりが必要である。

「わたしの終活登録事業」の登録内容は全て重要であるが、特に緊急連絡先の登録があることは、万が一の時や医療や介護が必要になった場合、本人の意思を最大限尊重した支援を可能にする制度であると感じた。年齢に関係なく登録しておくことにより、市民ひとりひとりが安心して生活できるのではないだろうか。

今後の羽村市の終活支援の参考となる視察だった。

行政視察報告書
(全文)はこちら



※記事は報告書の内容を要約しています。

市議会からのお知らせ

今年も行いました！

都立羽村高等学校の生徒たちとの意見交換会

11月5日に「ハム市議トーク会～羽高生と市議会議員が語ってみた！？～」を行いました。
今回のテーマは、『あなたの「働く」ことへの解像度は？情報の穴を埋めてみよう！』。

羽村高校の生徒会役員、学校PRを担当する生徒の方と、

「働くことへの疑問や不安は？」

「どんな職場や仕事なら羽村で働きたい？」

「もっと羽村が良くなるには？」

などについて、意見交換しました。

意見交換を終えて、高校生の皆さんから

将来の目標が固まってきた

働くことへの不安を解決できた

他の生徒の意見を聞いて
自分の視野が広がった

次回も開催してほしい



羽村にもモールなどの
大きな施設があるといい

意見交換の時間を
増やしてほしい

市を良くするアイデアは
続けてほしい



などの感想をいただきました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

※この意見交換会は、議会改革推進委員会での提案事項をもとに実施しているものです。

ぜひお越しください

タウンミーティングを開催します！

今回のテーマは、「みんなで考えよう！はむらのミライ2026」。

【日時】令和8年3月29日(日) 午後2時～午後4時(予定)

【会場】羽村市生涯学習センターゆとろぎ(3階) 創作室1

【定員】40人

市内在住・在勤・在学の方は、どなたでも参加できます。

テーマに沿って、議員と意見交換を行い、

市の未来について一緒に考えましょう！

※詳細については、広報はむら3月1日号にてお知らせします。



令和7年2月に開催したタウンミーティングの様子

より開かれた議会の実現のために

議会改革の検討結果を提出しました

全議員で構成する議会改革推進委員会は、議長からの諮問を受け、より開かれた議会運営の在り方について、令和5年8月28日から検討を行ってきました。令和8年1月19日、この検討結果をまとめ、議長へ提出しました。



■抗議文を提出しました■

降下訓練における羽村市への場外降着について(抗議)

令和7年11月18日夕方、横田基地所属のC-130輸送機による降下訓練において、区域外(羽村市)に兵士及びパラシュートの一部が降着した事象に対し、抗議文を提出しました。

提出日 11月26日

提出先 外務大臣、防衛大臣、防衛省北関東防衛局長、防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長、
在日米軍兼第5空軍司令官、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

東京都福生市内へのパラシュート落下について(抗議)

令和7年12月1日、熊川児童館(福生市)の屋上に米軍のものと思われる物体が発見され、米軍に確認を行ったところ、空挺降下訓練に関する誘導傘(パイロットシュート)であったこと、また、この落下物は11月20日に米軍兵士がパラシュート降下中に切り離した主パラシュートの付属部品であること、主パラシュートは米軍が同日夜間に熊川児童館敷地内から回収したことが明らかになったとの情報提供があった件に関し、抗議文を提出しました。

提出日 12月11日

提出先 外務大臣、防衛大臣、防衛省北関東防衛局長、防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長、
在日米軍兼第5空軍司令官、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

■皆様のご理解をお願いします■

議員が寄附をすること、議員に寄附を求めることは **禁止** されています

議員は、選挙区内の人(法人、その他団体を含む)に対して寄附をすること、あいさつ状を出すことなどが禁止されています。また、有権者が議員に対して寄附を求めることも禁止されています。

このため、議員は選挙区内の人に対して祝儀や香典、年賀状等のあいさつ状などを出すことができませんので、皆様のご理解をお願いいたします。

なお、現金に限らず、花輪や記念のトロフィー、飲食物など、多少でも金銭的価値のあるものを無償で提供することも寄附にあたります。

【寄附の例】

各種会合へのご祝儀 祭りへの寄附や差し入れ 地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ
親睦旅行への差し入れ 開店祝の花輪やお祝い 葬式の花輪や供花 お中元やお歳暮
入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝い

【例外】

- ・答礼のための自筆のあいさつ状
- ・各種会合へのご祝儀(参加者全員が会費を負担している場合に同額を負担する場合に限る)
- ・結婚披露宴のご祝儀(自らが出席し、その場で相手に渡す場合に限る)
- ・葬式・通夜の香典(自らが出席し、その場で相手に渡す場合に限る)



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和7年11月1日～令和8年1月31日の主な活動

11月

- 4日 ■ 文教厚生委員会調査研究活動(羽村私立保育園協議会との懇談会)
- 5日 ■ 市議会・都立羽村高等学校意見交換会「ハム市議トーク会」
- 6日 ■ 第2回瑞穂斎場組合議会定例会
- 7日 ■ 第2回羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会
- 10日 ■ 基地対策特別委員会行政視察(航空自衛隊横田基地)
- 11日 ■ 第2回西多摩衛生組合定例会
■ 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 12日 ■ 行政視察受入れ(北海道岩見沢市議会)
■ 第2回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会定例会
- 13日 ■ 東京都市監査委員会第1回委員研修会
- 14日 ■ 第3回公共施設再配置調査特別委員会
- 21日 ■ 監査委員協議会
■ 東京都市議会議長会定例総会
- 25日 ■ 第15回議会運営委員会
■ 第24回議会改革推進委員会
- 26日 ■ 第2回福生病院企業団議会定例会
■ 総務委員会市民インタビュー(ピースメッセンジャー)

12月

- 3日 ■ 第4回羽村市議会定例会(初日)
- 4日 ■ 第4回羽村市議会定例会(2日目)
- 5日 ■ 第4回羽村市議会定例会(3日目)
- 8日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会
- 9日 ■ 第4回羽村市議会定例会(4日目)
■ 第4回基地対策特別委員会
- 10日 ■ 第5回環境まちづくり委員会
■ 第5回文教厚生委員会
- 11日 ■ 第5回総務委員会

- 16日 ■ 第16回議会運営委員会
■ 第25回議会改革推進委員会
- 17日 ■ 第11回広報委員会
- 19日 ■ 第4回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第7回議員全員協議会
■ 第4回公共施設再配置調査特別委員会
- 23日 ■ 監査委員協議会

1月

- 6日 ■ 文教厚生委員会調査研究活動(羽村市介護保険事業所連絡会との懇談会)
- 7日 ■ 令和8年第1回広報委員会
- 8日 ■ 公共施設再配置調査特別委員会所管事務調査(市内公共施設視察)
■ 令和7年度議員研修会(学校統廃合をどう考えるか)
- 13日 ■ 西多摩地区議長会西多摩地区地域医療検討部会
- 15日 ■ 公共施設再配置調査特別委員会所管事務調査(市内公共施設視察)
- 16日 ■ 東京都市監査委員会第2回委員研修会
- 19日 ■ 第26回議会改革推進委員会
- 22日 ■ 第1回文教厚生委員会
■ 公共施設再配置調査特別委員会所管事務調査(市内公共施設視察)
- 23日 ■ 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第3委員会
- 26日 ■ 第1回議員全員協議会
■ 第1回議会運営委員会
■ 行政視察受入れ(熊本県熊本市議会)
- 27日 ■ 監査委員協議会
- 28日 ■ 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第1委員会
- 30日 ■ 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第2委員会
■ 西多摩地区議長会臨時総会

しぎかいカレンダー

●第1回定例会(3月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				2/19 陳情メ	20 議運	21
22	23	24	25	26	27	28
3/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6	7
8	9 予特 (補正)	10 本会議	11 常任委	12 常任委	13	14
15	16 予特	17 予特	18 予特	19	20	21
22	23 議運	24	25	26 本会議		

■陳情メ…請願・陳情の3月定例会審議予定分の締切
 ■議 運…議会運営委員会
 ■常任委…常任委員会(総務、環境まちづくり、文教厚生)
 ■予特(補正)
 …一般会計等予算審査特別委員会(令和7年度補正予算)
 ■予 特…一般会計等予算審査特別委員会(令和8年度予算)
 ※会議の予定は変更になる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は3月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
当日市役所4階の議会事務局にお越しください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。



羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

いつも「ぎかいのトビラ」をお読みいただき、ありがとうございます。リニューアルから53号を迎え、手に取りやすく読みやすくなったとの声を頂いています。これからも読者の皆様の姿を思い浮かべながら、より良い議会だよりを目指して工夫を重ねてまいります。

さて、羽村市議会では議場システムの改修を行い、12月定例会から電子採決を導入しました。議会での導入が全国的に進む中、議事の効率化や可視化が一層図られ、各議案に対する賛否がモニターに即時表示されるようになりました。「採決結果が分かりにくい」との声にも応える仕組みです。

議会のDX化が着実に進む今、ぜひ本会議場へ足をお運びいただき、傍聴を通じて議会の姿を身近に感じていただければ幸いです。議員一同、お待ちしております。
(中嶋)

【広報委員会委員】

鈴木 拓也(委員長)
 山崎 陽一(副委員長)
 林田 敦子 櫻沢 裕人
 金子 ひとみ 菅 勇真
 秋山 義徳 富松 崇
 中嶋 勝

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
 Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。